

岡本眸の秋の句

送り火に遣らずの雨の降りいでし
新涼やひとり膳に礼をなし
折りたたむ風も秋なる日傘かな
休暇果つ少女風視る目をしたり
雨だれに灯が一つづつ秋の果舗

松岡隆子 抽